

平成30年11月1日

# まちづくり委員会資料

## 川崎市シェアサイクル実証実験 の実施について

建設緑政局

# 川崎市シェアサイクル実証実験の実施について

## 1. シェアサイクルの全国での取組状況

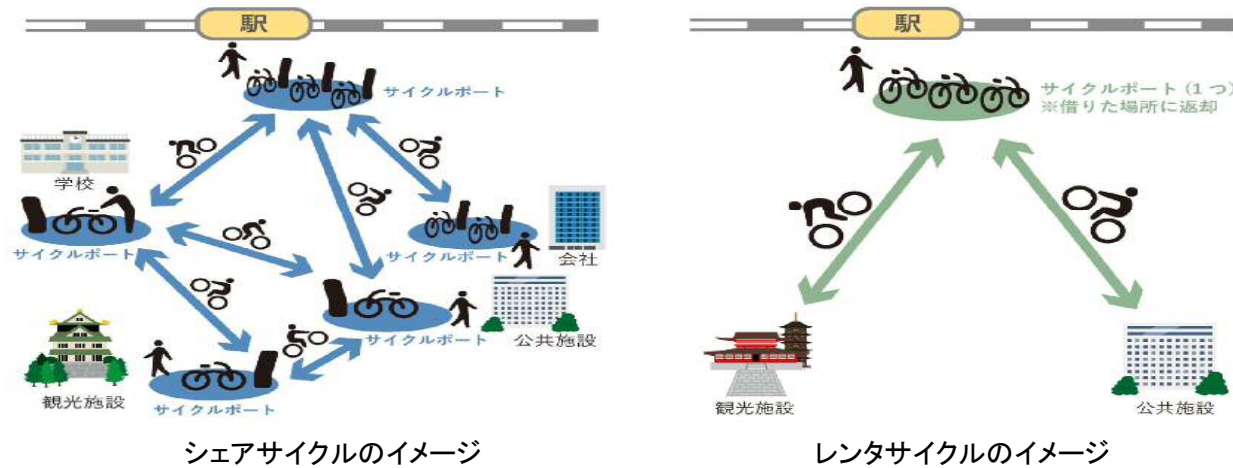
※国による調査では「コミュニティサイクル」と呼ばれているが、本稿では、「シェアサイクル」で統一する。

### ■シェアサイクルの特徴など

- ・相互利用可能な複数のサイクルポートを設置し、貸出場所と返却場所は異なるポートでもよい面的な交通システム
- ・「二次交通」や「端末交通」として「ラストワンマイル」を担う交通手段
- ・交通やまちづくりの課題を解決するための一つの手段として期待
- ・専用アプリ、GPS、スマートキーを駆使した自転車新時代を象徴するシステム

### ■レンタサイクルとの違い

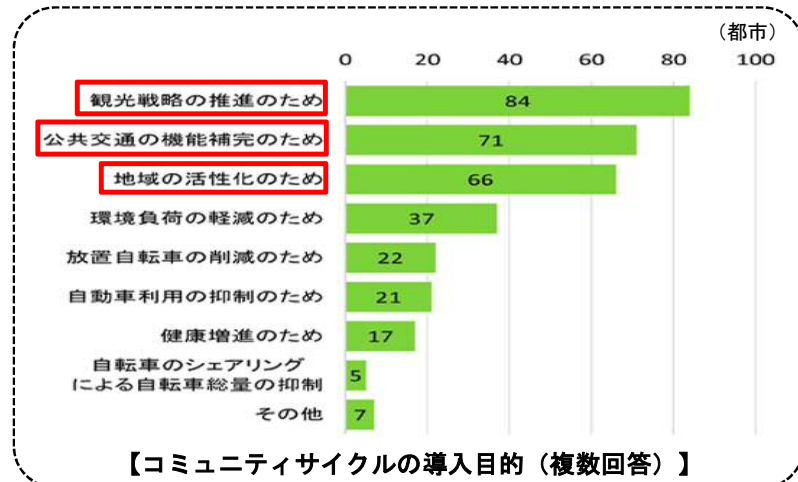
- ・レンタサイクルはサイクルポートを鉄道駅等の交通の結節点に設置し、利用後に同一のサイクルポートに返却するが、シェアサイクルは複数のサイクルポート間で貸出ポートと異なるポートへの返却が可能



### ■全国的なシェアサイクルの取組と導入目的

- ・シェアサイクルの導入状況は平成29年度までに民間事業も含め110都市で本格導入

【出典】  
H29コミュニティサイクルの取組状況に関するアンケート  
(国土交通省)



## 2. 国の動き

### ■自転車活用推進法(平成29年5月施行)

第8条の基本方針に規定されている自転車活用の推進に関し、重点的に検討・実施すべき14の施策に、「シェアサイクル施設の整備」が位置付けられている。

### ■自転車活用推進計画(平成30年6月閣議決定)

18の施策の中に「シェアサイクルと公共交通機関との接続強化や、サイクルポートの設置促進等により、シェアサイクルの普及を促進する。」と位置付けられている。

## 3. 本市におけるシェアサイクルの位置付け

### ■本市既存計画におけるシェアサイクルの位置付け

- ・川崎市自転車利用基本方針(平成30年3月策定) → 観光客のアクセス手段の充実、商業活性化や放置自転車対策への効果
- ・新・かわさき観光振興プラン(平成29年6月策定) → 自転車の観光利用や観光アクセス手段としての自転車利用
- ・川崎駅東口周辺地区総合自転車対策基本計画(川崎駅東口周辺地区総合自転車対策第3期実施計画)(平成29年3月策定) → 放置自転車の抑制及び、臨海部における交通機能の補完を目的  
・観光客のアクセス手段の充実

シェアサイクルの導入

## 4. 本市におけるシェアサイクルの導入

### (1)導入目的

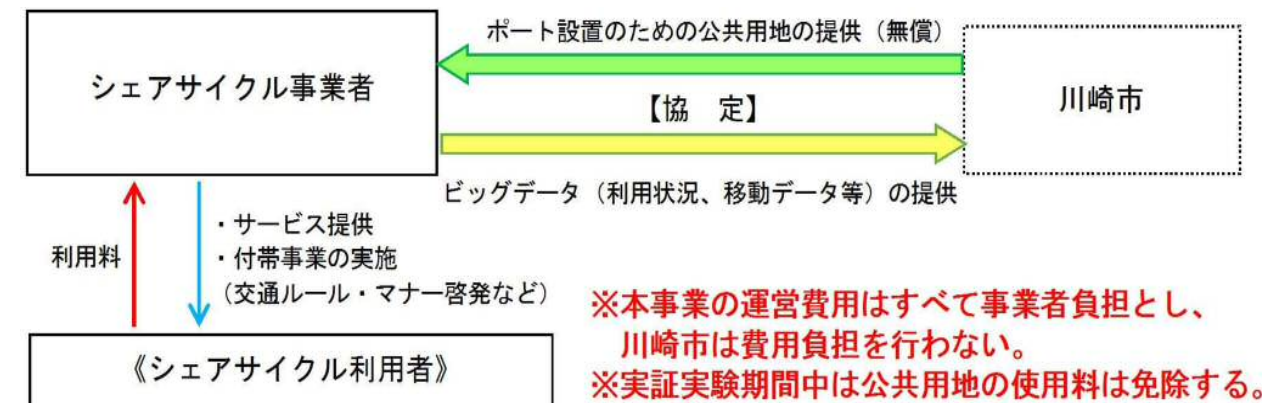
公共施設を活用したシェアサイクル事業によって、本市の行政課題である来訪者等による観光施設間の回遊性向上や商業及び地域の活性化、公共交通の機能補完※、放置自転車の抑制などの課題解決に向け、実証実験を実施し、導入の検討を行うものとする。

※「公共交通の機能補完」とは、公共交通だけでは対応できない、個人の移動ニーズに対し自由な経路・時間で移動できる自転車の特性を活かして対応を図ること。

### (2)実証実験

#### ①事業スキーム

民間事業者等の優れた技術や知識、資金など民間活力を効果的に活用した実証実験を行う。



#### ②実施期間

供用開始日から平成33年(2021年)3月31日まで(予定)

#### ③役割分担

川崎市: ポータル設置するための公共用地の提供、広報・付帯事業の支援、効果・課題等への検証  
事業者: 施設整備及び運営(ポータルや自転車等の設置・管理)、付帯事業の実施、広報、利用率向上に向けた取組、データの収集と提供(アンケート調査含む)

# 川崎市シェアサイクル実証実験の実施について

## 4. 本市におけるシェアサイクルの導入

### (3) 実証実験での検証事項

#### 【行政課題】

- ・ 来訪者等による観光施設間の回遊性向上
- ・ 商業及び地域の活性化
- ・ 公共交通の機能補完
- ・ 放置自転車の抑制

### シェアサイクル実証実験

#### 【効果・検証】

##### 【導入効果検討項目】

- 観光振興
  - ・ シェアサイクルの利用による観光拠点等の来訪者数の増加
- 地域の活性化
  - ・ 店舗や商店街の利用者の増加
- 公共交通の機能補完
  - ・ 利用者アンケート（代替交通実態調査）や、バス乗降者数調査
- 放置自転車対策
  - ・ 放置自転車の実態調査、放置自転車撤去費用の削減

##### 【事業採算性検討項目】

- 事業収支
  - ・ 事業収支の推移や傾向を分析
  - ・ 運営体制や維持管理費等の分析（コスト削減に向けた取組状況など）
- ・ シェアサイクルの利用促進に向けた検討（利用システムの適正化やサイクルポートの適正配置など）
- ・ 付帯事業の実施状況の分析

##### （評価データ）

- ・ シェアサイクルの利用状況（利用者アンケート、ビッグデータ（登録者数、利用回数、利用時間、ポート間の移動状況等））
- ・ 統計調査資料
- ・ 収支報告書
- ・ 商店街、観光拠点等関係機関へのヒアリング（観光客・来訪者の推移、売上等）
- ・ 放置自転車の実態調査

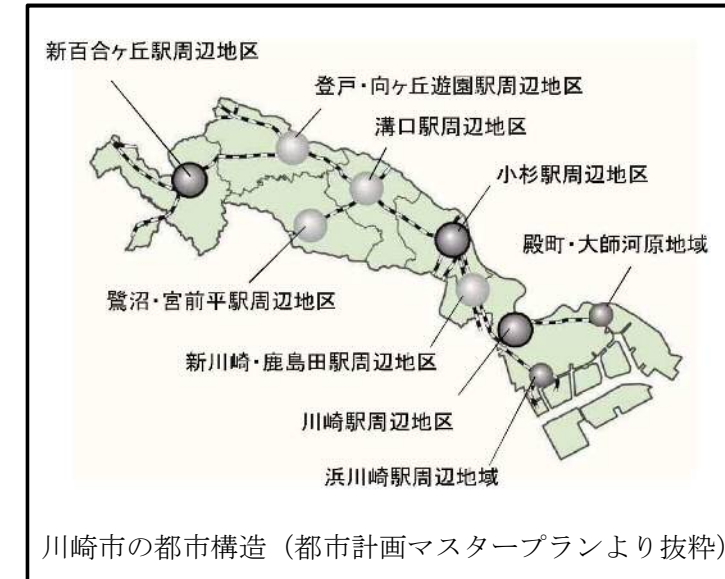
##### 【今後の取組の方向性】

- ・ 実証実験の効果・検証において、「導入効果」と「事業採算性」を比較検討し、シェアサイクルの導入目的に対する課題や問題点を明らかにし、解決に向けた方策を検討する。

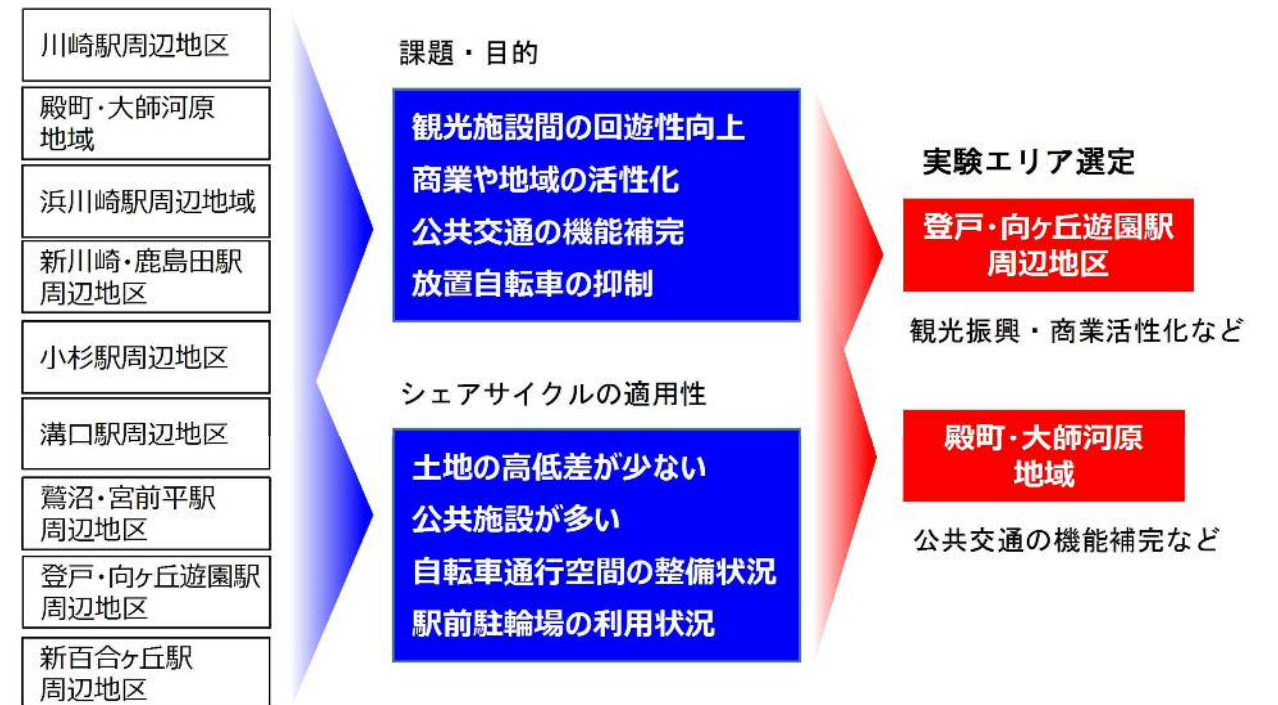
## 5. 実証実験エリアについて

### (1) 実験エリア選定の考え方

- ・ 「川崎市都市計画マスタープラン」に位置づけた、主要なターミナル駅を中心に多様な都市機能の集積された地区である、9つの拠点地区において実証実験エリアを検討した。



- ・ 各拠点地区において、シェアサイクルの導入によって解決が可能な課題や目的、適用性を重ね合わせ、実証実験エリアとして下記の2箇所を選定した。



- 「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリア」⇒「観光振興、商業活性化」、「公共交通の機能補完」、「放置自転車対策」
- 「殿町・大師河原エリア」⇒「公共交通の機能補完」、「地域活性化」、「放置自転車対策」

# 川崎市シェアサイクル実証実験の実施について

## 5. 実証実験エリアについて

### (2) 実験エリアにおける導入目的

#### ① 「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリア」

(登戸駅を中心とする概ね半径1.5kmのエリア)

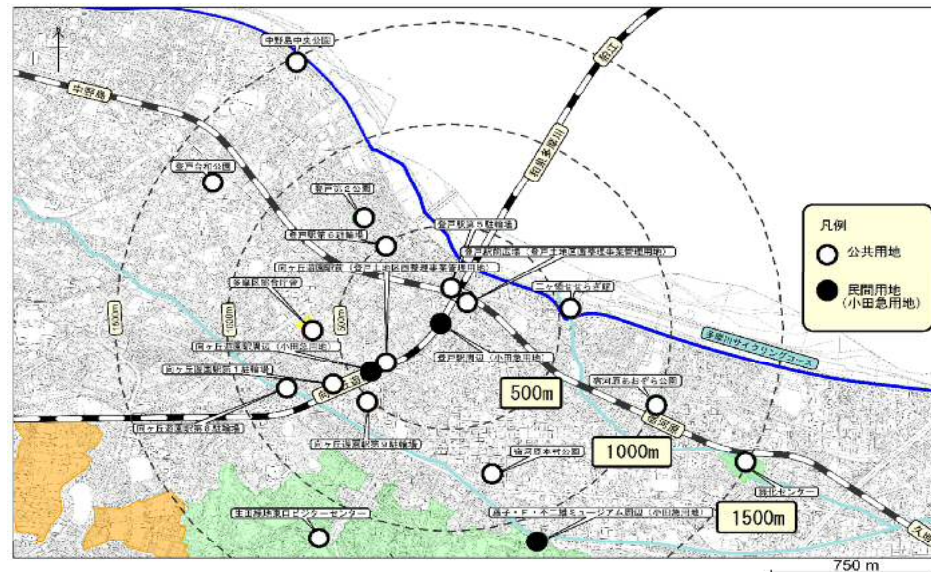
- ・登戸駅・向ヶ丘遊園駅の2つの駅前商業地の結びつきを強め、商業の活性化を図る。
- ・駅周辺に点在する観光施設間(生田緑地、藤子・F・不二雄ミュージアム、緑化センター、ニヶ領せせらぎ館など)の回遊性向上、外国人観光客の需要の取り込みを促進する。

※小田急電鉄との包括連携協定を踏まえた連携・協力の取組として、同社よりポート用地の提供を受ける。

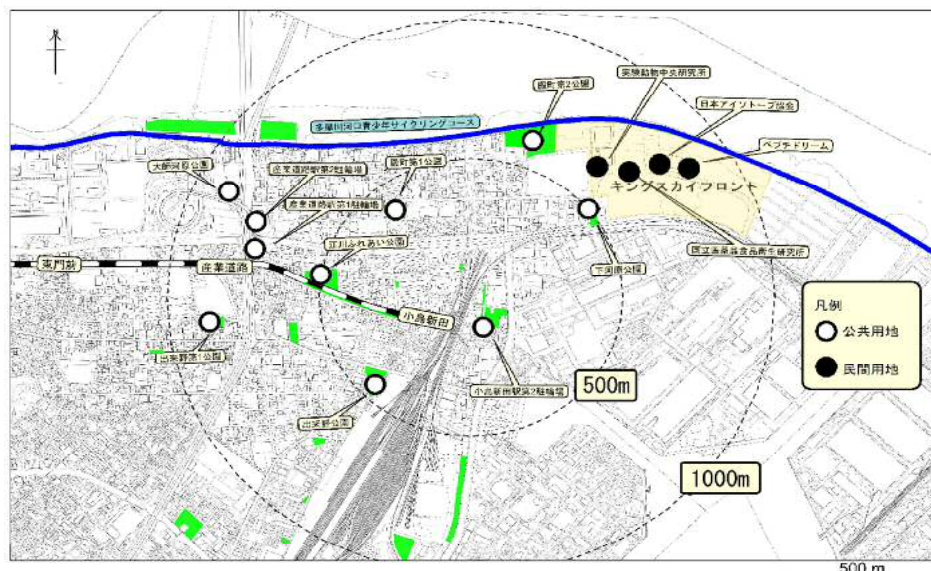
#### ② 「殿町・大師河原エリア」

(小島新田駅を中心とする概ね半径1kmのエリア)

- ・京急大師線の小島新田駅及び産業道路駅から、キングスカイフロントまでの公共交通の機能補完の促進を図る。
- ・キングスカイフロントと周辺地区の結びつきを強めることで、地域活性化を図る。



① 「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリア ポート候補地」



② 「殿町・大師河原エリア ポート候補地」

## 6. シェアサイクル事業者の選定について

### ■事業者の特定

- ・ポートを設置するために公共用地を提供することから、事業者の特定にあたっては透明性・公平性を確保するとともに、本市の目的に即した事業者を選定するために、**公募型プロポーザル方式**とする。

### 【主な評価項目】

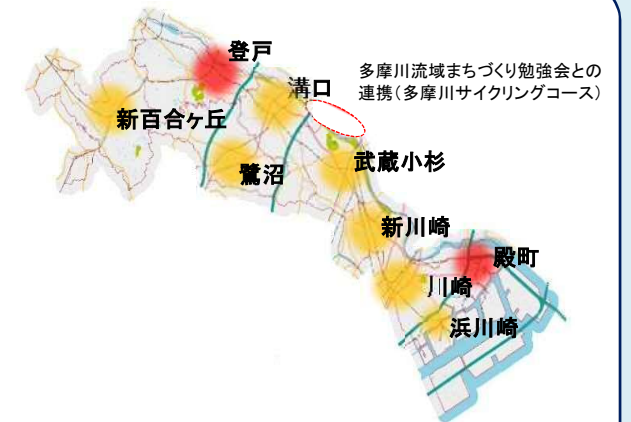
- ①基本事項としての運営能力や事業の継続性、運営方法や設備等について地域特性を踏まえた上で評価を行う。
- ②登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリアは、「観光振興、商業活性化」に重点を置き、観光スポットの把握、自転車の観光ルート選定や周遊に適したポートの配置計画などを評価する。
- ③殿町・大師河原エリアは、「公共交通の機能補完」に重点を置き、利便性向上に向けた提案や企業と連携したポート配置計画などを評価する。
- ④川崎市独自のシェアサイクルシステムの提案を評価する。

## 7. 今後の流れについて

### ■今後の展開

- ・今回のエリアでの実験の効果検証(※)を行い、シェアサイクルが「観光振興・商業活性化」や「公共交通の機能補完」、「放置自転車対策」等の行政課題の解決への効果と、事業性に対する課題を勘案し、最適なシェアサイクルシステムの導入を図る。
- ・将来的には全市的な展開も視野に入れ、検討を行う。

※効果検証では、学識経験者等の意見も踏まえた検討委員会を立ち上げ、本格実施に向け、実証実験により得られた成果や課題を検証する予定。



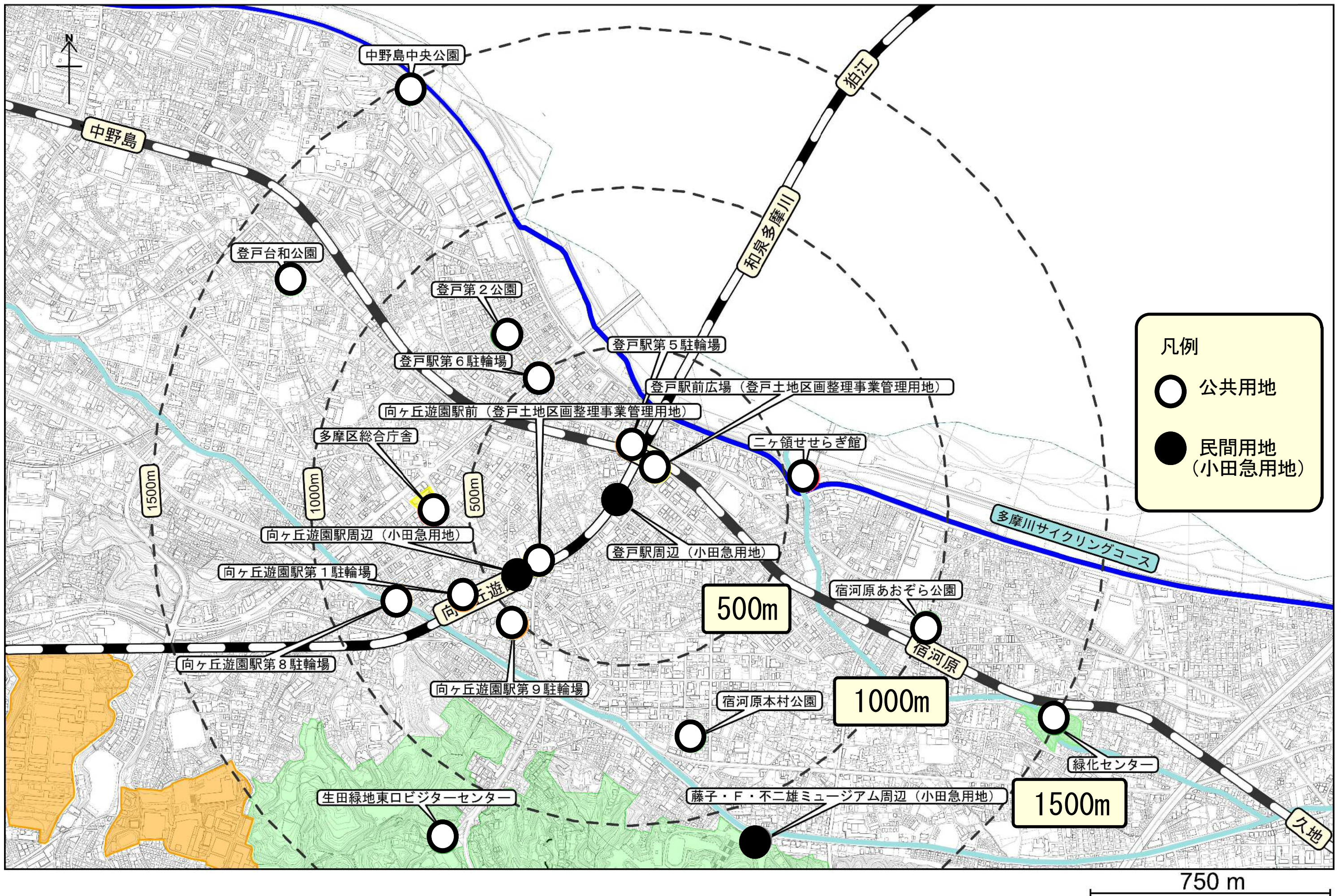
### 【「多摩川流域まちづくり勉強会」との連携について】

国、大田区、世田谷区、川崎市、東急電鉄、富士通などの多摩川流域企業、大学において、「多摩川流域まちづくり勉強会」を設立し、多摩川流域のポテンシャルと将来の可能性について検討しており、平成30年度中に、多摩川の賑わい創出に向けて、「多摩川サイクリングコース」を活用したシェアサイクルの社会実験を実施予定である。今後、実証実験のデータや検証結果の提供を受け、全市的な展開の検討材料として活用する。

### ■スケジュール(案)

	平成30年度						平成31年度	平成32年度	平成33年度以降
	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
事業者選定		○ 事業者募集	○ 事業者決定	○ 評価委員会	☆ 協定締結				
実証実験 (川崎市)						○ 実験開始	△ 効果検証	○ 実験終了	
社会実験 (多摩川流域 まちづくり勉強会)							← (連携) データ・効果検証 結果の提供等 →		→ 本格実施 実験延長 を判断

①「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリア ポート候補地」



## ② 「殿町・大師河原エリア ポート候補地」

